

精神保健福祉の理論と方法Ⅰ

[講義] 第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》橋本 菊次郎 hashimoto-kiku@hoku-iryo-u.ac.jp

【概 要】

精神保健福祉領域におけるソーシャルワーク実践は、他の領域と同様に個別援助、集団援助、さらにはコミュニティ支援の過程として一体的に展開されるが、わが国固有の課題である入院偏重や過剰病床、多剤多量問題、身体拘束に象徴される人権問題、地域移行支援に象徴される独自の課題をかかえており、精神障害者などの置かれた社会的な現状理解を踏まえながらあるべきメンタルヘルス分野のソーシャルワーク実践のあり方の在り方の基本を学ぶことになる。

【学修目標】

- ①精神保健福祉の国際的な動向を理解し、我国の精神保健福祉の現状と課題を踏まえたソーシャルワーク実践の基本的考え方を理解する。
- ②精神科リハビリテーションの歴史、概念、構成を理解し、ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）がチームや地域における役割の展開の基礎を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	精神医療と精神障害者施策の歴史 精神医療の動向とその課題	・精神保健福祉施策の歴史的な変遷を学ぶ。 ・国内外の精神医療の動向と我が国における精神保健福祉の課題を学ぶ。	橋本
2	精神障害における障害の構造①	・精神障害の障害特性について学ぶ。	橋本
3	精神障害における障害の構造②	・精神障害を抱えて生きる人の“生きにくさ”について学ぶ。	橋本
4	精神障害者へのソーシャルワーク実践の基本と理念	・ソーシャルワーク実践の精神保健福祉分野における展開の基本とそれを支える理念をリカバリーの概念に基づいて学ぶ。	橋本
5	精神障害者への個別支援の基本と理念	・精神障害を持つ人の生活課題に沿った、具体的な個別支援（障害者、家族）について学ぶ。	橋本
6	精神障害者への個別支援の展開	・精神障害者の個別支援の実際を事例に即して学ぶ。	橋本
7	精神障害者へのグループワークの基本と理念、展開過程	・対人援助と並んで集団援助は、ソーシャルワーク実践の重要なアプローチの一つである。その基本と理念、展開過程を精神保健福祉領域に即して学ぶ。	橋本
8	精神障害者支援の実際①	精神障害者の支援の実際について特別講師の事業所の取組について学ぶ。	服部篤隆（特別講師） 橋本
9	精神障害者へのグループワークの対象	・精神保健福祉領域における集団援助の対象（障害者、家族）について学ぶ。	橋本
10	精神障害者支援の実際②	・依存症を対象とした支援の実際について特別講師の事業所の取組について学ぶ。	橋本
11	精神障害者領域におけるコミュニティワーク	・精神障害者への偏見等から生じるコンフリクト等について、コミュニティワークの必要性、展開について学ぶ。	橋本
12	コミュニティワークの実際	・事業所の開設、運営を通じてコミュニティワークの実際について、特別講師の事業所の取組から学ぶ。	小畑友希（特別講師） 橋本
13	精神保健福祉領域におけるコンサルテーションの理念と実際	・専門職間の相互関係のなかで、それぞれの専門を超えて行われる助言や支援等に関するコンサルテーションの理念と実際を学ぶ。	橋本
14	精神保健福祉領域におけるソーシャルワーク実践とスーパービジョン	・ソーシャルワーカーのための教育・訓練活動として位置づけられるスーパービジョンを精神保健福祉領域で展開するための基本と実際を学ぶ。	檜垣知里（特別講師） 橋本
15	まとめ	基礎的な学習を振り返り、後期の「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」に向けた橋渡しとなる学習をする。	橋本

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】
導入している

【評価方法】
受講態度20%、レポート30%（特別講師講義後に提出）、試験50%により総合的に評価する

【教科書】
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 最新 社会福祉士養成講座6『ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）』中央法規
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座12『ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕』中央法規

【参考書】
講義で適宜紹介する。

【備考】
この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」に該当し、また後期の「精神保健福祉の理論と方法Ⅱ」の履修も必要となるため、履修漏れに気を付けること。

【学修の準備】
テキストについては事前に読み、疑問点や質問したいことをもって講義に臨むこと。
予習は次回の授業で行う学習内容について読み込み、理解できたことや疑問点などを明確にしておくこと（2時間）。
復習は授業で取り上げた学習内容について振り返り、教科書および配布したレジュメを用いて理解を深めること（2時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】
DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を習得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し、解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【教科書について】
教科書として「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座12『ソーシャルワークの理論と方法〔共通科目〕』中央法規」を指定しているが、「ソーシャルワーク方法論Ⅰ」および「ソーシャルワーク方法論Ⅱ」を履修し、購入済みの場合、再購入は不要。

【実務経験】
精神保健福祉士

【実務経験を活かした教育内容】
精神保健福祉領域の医療機関、就労支援の現場での臨床経験（ソーシャルワーク）に基づき、精神障害者支援の課題の基礎的知識を講義する。

【その他】
この科目は主要授業科目に設定している